

単なるロジカルシンキングではない、実践的技術者思考で確実に成果を出す

ものづくり・研究開発の進め方、論理的技術者思考とその実践

～ 技術者に求められる捉え方・考え方 ～

日時	詳細は案内メール、HPをご覧ください。	会場：WEB 配信方式
受講料	税抜き 49800 円（税込み 54780 円）テキスト付 & 主催講座特典	
講師	ジャパン・リサーチ・ラボ 代表 博士（工学） 奥村 治樹	
受講対象	得られる知識、スキル	
<ul style="list-style-type: none">・実験量ばかり多く成果に結びつかない人・仮説思考、論理思考が苦手な人・データと情報に埋もれて溺れている人	<ul style="list-style-type: none">・目的志向でゴール設定し、確実に目標達成する力・仮説思考でロジックを構築する論理思考力・多面的複眼視点、ストーリー力、俯瞰視点	
概要	<p>研究開発、技術部門と言えはロジカルシンキングとなっていますが、ロジカルシンキングは単なるツールしかなく、ベースとなる技術者思考ができていなければ意味がありません。技術者は研究開発、ものづくりにおいて、目標設定、研究開発のための技術者としての思考力、計画力、実行力や、これらを支える仮説思考と検証力を持って目的志向で考え、進めるといふ技術者思考が必須となります。</p> <p>本講では、単なるロジカルシンキングと知識の説明ではなく、様々な研究開発の場面はもちろん、製造トラブルなどの問題解決においても必要となる、実務において必要とされる技術者としての対象の捉え方、考え方、進め方としての論理的技術者思考について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none">● 【企業における研究開発】 知識としての論理思考ではなく、能力としての論理的技術者思考を考える上で基盤となる企業における研究開発業務とはどのようなもので、何が求められるのかについて解説します。● 【技術者に必要なスキル】 研究開発、ものづくりに携わる研究者、技術者に求められる基本スキルについて解説します。● 【目的と目標】 机上の空論で終わらせない、実験を発散させない、求める成果を得るための基盤となる目的と目標とは何、そこに求められることについて解説します。● 【開発（ものづくり）の進め方】 企業における研究開発、ものづくりに求められることを整理しつつ、技術者としてこれをどのように捉え、考えて、進めていくかについて解説します。● 【研究開発のための思考】 研究開発において求められる論理的技術者思考とはどのようなものであり、どう実践するのかについて、求められるスキルを含めて解説します。● 【論理的な考え方と解釈】 実験結果等の情報をどのように捉えて、扱えば良いかについて、論理的技術者思考をベースとして、普段何気なく行っている行為の落とし穴なども含めて解説します。● 【思考の道具】 論理的技術者思考を進めるための代表的な思考の道具、テクニックについて解説します。● 【仮説と検証】 論理構築はもちろん、論理的技術者思考の根幹とも言える仮説構築とその検証について、ポイントだけでなく陥りがちな落とし穴も含めて解説します。● 【実験の本質とは】 研究開発、ものづくりに欠かすことができない実験の役割とは何か、あるべき実験の姿とはどのようなものかについて、改めて整理解説します。● 【研究者の心得】 成果を出せる技術者、研究者となるための考え方、条件について、これまでの実務経験も踏まえながら解説します。 <p style="text-align: center;">詳細は、HP をご覧ください</p>	
お申し込み	https://analysis.ikaduchi.com/tsushin-form.html または HP お問い合わせより	

URL : <http://analysis.ikaduchi.com>

e-mail : haru777@star.email.ne.jp